

**協議会や部会等でのご意見・
地域づくりや利活用に関する取組案**

協議会や部会等でのご意見

1. 推進体制

【全体】

- 新潟市においては、ラムサール条約湿地自治体認証を活用した取組ができると良い
- 他の生態系ネットワークとの交流の場を設定できると良い
- 新潟県生物多様性地域計画との連携が望ましい
- 生物に限らず様々な分野でのネットワークの拡大を推進することが望ましい
- 生態系ネットワークを活用した取組の展開イメージを作り上げると良い

【福島潟モデルPJ】

- えちごエコネット形成上の位置付けや、目指すべき環境づくりについて検討し、福島潟エリアの活用や管理のあり方を考えていく必要がある

2. 広報

【全体】

- 市民が集まる場所でパネル展示ができると良い
- 主体間での予定行事の情報共有できると良い
- 授業の一環で学生とコラボしたイベント実施や、学生によるSNS発信を検討できると良い
- 生協会員へ、えちごエコネットの紹介も可能である

【福島潟モデルPJ】

- SNSでの発信時には、戦略的なハッシュタグを選択する必要がある
- 潟カメラが活用できると良い（YouTube配信など）

協議会や部会等でのご意見

3. 環境学習

【全体】

- 中学校等の総合的な学習の時間で、えちごエコネットと学校が連携していけると良い
- 小・中・高校の総合的な学習の時間でフィールドワークができると良い
- 学校外での自然環境学習の推進
- 環境分野に関心のある生徒が集いゼミのように学び合える場づくりや地域貢献プロジェクトの環境分野チームの伴走ができると良い
- 大人向けの研修合宿ができると良い

4. 観光

【全体】

- ガイドへお金が回るような仕組みづくりの検討が必要である

【福島潟モデルPJ】

- 福島潟の強みとターゲット層を整理した上で進める必要がある
- 福島潟で採れる生きものを利用した料理など、福島潟のプロダクトの活用
 - ・ 地域色のある食材を使ったお弁当等が作り出せるとよい
 - ・ 綺麗なお弁当箱、お重等に入っていると付加価値も得られる
 - ・ 福島潟や阿賀野川を見ながら、お弁当やお酒を楽しんだりするのも良い
 - ・ 潟の食材を地元の割烹等に提供ができると良い
 - ・ 調理師学校等に参画いただくのも良い

協議会や部会等でのご意見

4. 観光

【福島潟モデルPJ】

- 拠点・周辺環境の活用
 - ・ アウトドアメーカーと連携出来ると良い
 - ・ 双眼鏡がレンタルできると良い
 - ・ 雁晴れ舎を活用した取組ができると良い
 - ・ キャンプ場の冬期利用（ウィンターキャンプ）ができると良い
 - ・ 福島潟堤防を回るサイクリングルートがあると良い
- 大人を対象とした遠足や体験学習があると良い
- ビュー福島潟の反対側にサテライト的な休憩場所の設置
- 月岡温泉からの流入を図る取組が必要である

5. 農業

【全体】

- 将来的なトキの野生復帰に向け、佐渡のような江・畦の管理やJA等との連携拡大が必要である

6. その他

- 潟の食材の利用によって、その生息環境を守る必要性、生物多様性の必要性につながる

R6 地域づくりや利活用に関する取組案

1. えちごエコネット全体の取組

① 推進体制の拡充

- 関係機関との連携
 - ・ 新潟市ラムサール湿地自治体推進PJTとの連携
 - ・ 関東エコ・ネットとの連携
 - ・ 新潟県環境対策課との連携（生物多様性に係る市町村との連携・情報共有の仕組みの検討）
 - ・ SDGsにいがたへの参画検討
- 主体間での予定行事の情報共有方策の検討

② 「広報」の取組

- イベント出展の検討
 - ・ パネル展示候補地の検討
- SNS活用の検討
 - ・ マイマップで紹介する内容の検討
- 授業の一環で学生とコラボしたイベント実施や、学生によるSNS発信の検討
- 関係者のイベント、広報誌での紹介
 - ・ パルシステム新潟ときめき：イベント「ときめき学校～田んぼ～」、広報誌「ときめき通信」でえちごエコネットの紹介を検討
 - ・ コープデリにいがた：イベント「佐渡トキ応援お米プロジェクト」、広報誌「こーぷふる」でえちごエコネットの紹介を検討

R6 地域づくりや利活用に関する取組案

③「環境学習」の取組

- 学校と連携した活動
※新潟市「潟フェス」で発表した赤塚小・葛塚東小・松野尾小・岡方第一小・赤塚中・高志中など
- 学校外での環境学習の推進

④「観光」の取組

- エコツアーガイドの養成プログラムやガイドプログラムの検討
※地域の農産物や文化・歴史の繋がりを紹介できるガイド
- ガイドへお金が回るような仕組の検討

⑤「農業」の取組（情報共有）

- 新潟県環境保全型農業直接支払交付金について（新潟県農産園芸課）
- にいがたオーガニックフェスタへの出展
※【長岡】10/14・【十日町】10/20・【新潟】10/26・【上越】10/27・【新発田】11/10・
【阿賀野】10/6
- 学校給食への有機米の提供についての事例紹介（阿賀野市農林課）

⑥その他

R6 地域づくりや利活用に関する取組案

2. 福島潟モデルプロジェクトの取組

① 推進体制の拡充

- 福島潟の強み・魅力の整理
- 民間企業との連携検討（アウトドアメーカーとの連携や企業研修の利用など）
- 農業者との連携検討（自然栽培水田の現地視察）

② 「広報」の取組

- 戦略的な広報の検討
 - ・ おすすめのハッシュタグとその活用検討
 - ・ マイマップの活用検討
 - ・ 潟カメラの活用検討（YouTube配信など）

③ 「環境学習」の取組

- 学校外での環境学習の推進（体験合宿の企画）
- 大人を対象とした環境学習の検討※観光促進とあわせて検討

④ 「観光」の取組

- にぎわいの場の拡充
 - ・ 潟舟の活用検討
 - ・ 雁晴れ舎の活用検討
 - ・ サイクリングロードの運用
- 観光ツアーの企画検討